



学校だより

相見小学校だより

令和3年3月23日(火)

最終号

宝達志水町立相見小学校

校長 北 智香子

めざす児童像：自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

令和2年度卒業式 卒業生 21 名

こんにちは。校長の北でございます。いよいよ今年度最終号のお届けです。

3月16日、相見小学校第54回卒業証書授与式が行われました。この1年間、最上級生として活躍してくれた21名(男子8名、女子13名)の子ども達が相見小を巣立っていきました。今年で、相見小の卒業生は、2,717号を数えます。昭和43年の第1号から数えて54年間の総数です。脈々と続く歴史を感じます。

この1年間、コロナ禍の中で、例年なら当たり前に行ってきた学校行事が実施できず随分我慢をさせてきました。その中でも、是非やりたいと考え、動き、また考え、工夫をしてきた6年生達でした。春のミニ遠足、秋の運動会、鹿島少年自然の家への体験活動、相見っ子まつり、リズムなわとび、紅白対抗なわとび選手権など、新しい取組に果敢にチャレンジしてくれました。男女仲よく、協力し合う姿は、在校生の目指すモデルでした。校長先生検定も助け合い、励まし合う微笑ましい姿がありました。そして、卒業式当日。卒業生の姿は、全員凛々しく立派でした。まさに有終の美を飾った感動の卒業式でした。

4月からは、宝達中学校の生徒です。5つの小学校から生徒が集います。新しい世界の中であっても、健康で前向きに進む「伸びゆく相見っ子」であって欲しいと願います。私たち教職員も在校生とともに、卒業生の活躍を応援し、見守りたいと思います。

そして、在校生代表として式に参加した5年生17名。素晴らしい態度と歌声でした。準備から後始末まで、来年、最高学年になる自覚と受け継ぐ覚悟をひしひしと感じました。今後の活躍が楽しみです。



● 令和2年度 卒業証書授与式 ●



1年の終わり・修了式を迎えます

令和2年度が終わろうとしています。春・夏・秋そして冬を越えて、また春が巡ってきました。春の日差しは、暖かく感じます。いよいよ新しい学年へ進級の時です。

どの学年の子どもも、1年前とは全く違います。顔つきがしっかりしてきました。担任の先生と学習を真面目に積み上げてきた子ども達です。素直で頑張る子ども達です。自学ノートは、全校児童が目標を達成しましたし、読書もたくさんしてきました。だからこそ、本校児童の学力は安定しているのだらうと思います。ただ、それも保護者の皆様、地域の方々の支えがあつてのことです。もっとも、私たち教職員は、その支援に甘えてばかりいてはいけないと思います。振り返ると、保護者の皆様が、願うことを全て実行できたかと考えると、まだまだ不十分であつたかと思ひます。しかし、コロナ禍の中、無事令和2年度を締めくくることができることは、皆様のご理解とご協力のおかげです。深く感謝申し上げます。

さて、私事ではありますが、3月末をもって38年間の教員生活を終え、定年退職となります。「感謝の気持ちを表す子どもがいる学校は幸せな学校」と言われます。相見小は幸せな学校です。そんな学び舎で教員生活最後の3年間を、校長として勤務できたことには感謝しかありません。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

